

「地域の未来づくり」を考える/ どうなるこの街、どうするこの街

期間 28年 6月3日[金]～7月29日[金](全5回)

応募締切 5月27日[金]

実施場所 九州国際大学地域連携センター (サテライト・キャンパス)

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (34ページ地図参照)

申込問合せ先 九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

時間 18:30～20:30

定員 30名

受講料 4,000円

講座概要

実施機関: 九州国際大学地域連携センター

私たちが安心して暮らし、誇りに思える地域を次世代に継承していくためには、今どうしたらよいでしょう。

この講座では、持続可能な地域の未来づくりにとって役立つ概念として、地域のたくわえを活用する「ストック型社会」という考え方を提唱します。北九州には未来の地域づくりに必要不可欠な技術やノウハウが、実はたくさんあるのです。

今回は入門編として、異なる分野の講師陣によるリレー講義を通じて、北九州の地域の未来づくりについてさまざまな角度から考えていきます。次学期以降には、実際に地域に入った、より実践的な内容への発展を予定しています。やがては社会技術やノウハウなどを地域の課題解決に結び付け(社会実装し)、地域づくりを引っ張っていく人材を育成していきたいと思えます。

- ・地域づくりに携わりたいと考えている方
 - ・北九州で進められている地域の未来づくりに興味のある方
- 積極的な参加をお待ちしております。

| 月 日 | テーマ・内容 | 担当講師 |
|--------------|---|--|
| 6月3日 (金) | なりゆきシナリオから持続可能な地域の未来づくりをめざして このまま何もしないで時の流れにまかせていると(なりゆきシナリオ)、この北九州は消えかかっていくでしょう。その現状を考えながら、長く続く街にするにはどうすればいいのかを考えてみましょう。 | 九州国際大学地域連携センター客員研究員/ (株)クロスポイント 地域デザイン研究室 主任研究員 岩下 陽市 |
| 6月17日 (金) | 多様な視点でストックの活用を考えると見えてくる地域の未来 現在、市内にあるストック(建築物、都市・産業インフラ、自然・景観等の資産・資源)を見直し活用を考えると、生まれてくる新しい可能性を考えてみましょう。 | 北九州エアターミナル 株式会社 社長 片山 憲一 |
| 7月1日 (金) | 低炭素社会・ストック型社会の中での地域の未来づくり 市民生活や産業・経済活動でのCO ₂ 排出量を減らし(低炭素社会)、いいものをつくって長く使う(ストック型社会)社会と地域の未来を考えてみましょう。 | (公財)北九州産業 学術推進機構 専務理事 松岡 俊和 |
| 7月15日 (金) | まちづくり紹介事例から北九州の未来づくりを考える 日本・世界の街でいろいろな取り組みがされています。その背景を探りながら、その取り組みの中から地域の未来を考えてみましょう。 | 北九州市立大学 国際環境工学部 教授 福田 展淳 |
| 7月29日 (金) | 社会科学からみる地域の未来づくりへの視点 社会学、経済学の立場から、これまでの地域社会の変容と未来像、これからの課題について考えてみましょう。 | 九州国際大学経済学部 教授 三輪 仁 |